



彦根城の世界遺産登録実現に向けた取組への支援

- 令和6年度の彦根城の世界遺産登録の実現に向けて、滋賀県では彦根市とともに、必要な作業を進めており、国としてのこれまで以上の支援をお願いしたい。
- 今後、必要となるユネスコへの推薦書の提出・対応や、イコモス調査の対応などに際して、県との連携を強化し、国としての確実な推進をお願いしたい。

【提案・要望先】 文部科学省

1. 提案・要望内容

彦根城の世界遺産登録に向けての一層の支援

- 令和6年の登録実現に向けて、彦根城の保存管理をより確実なものとし、推薦書の作成が加速できるよう、これまで以上のご支援をお願いする。
- 今後、推薦書のユネスコへの提出、イコモスの審査への対応、ユネスコ世界遺産委員会での対応など、国と県の連携を一層強化し、国としても彦根城の世界遺産登録を着実に推進していただきたい。

2. 提案・要望の理由

- 彦根城は、日本が世界遺産条約に批准した平成4年に世界遺産暫定一覧表に記載されて以降、すでに30年近い年月が経過した。
- 滋賀県と彦根市は、令和6年の登録実現を目標に、体制を整え、必要な作業を進めている。
- 令和6年の登録を実現するためには、令和4年度中に推薦書を完成させユネスコに提出する必要がある。この作業を円滑に進めるためにも、より一層の国の支援が必要になる。
- ユネスコへの推薦書の提出以降は、イコモスの現地調査や審査、ユネスコ世界遺産委員会の対応など、国と県が密接に連携して対応すべき事案が増加することから、国としても彦根城の世界遺産登録に向けた取り組みを更に強化していただきたい。



(本県の取組状況)

(1) 滋賀県と彦根市の取組

- 彦根城は、平成4年の日本の世界遺産条約批准と同時に、姫路城や法隆寺など12資産とともに、国によって世界遺産暫定一覧表に記載された。
- 令和元年度に、滋賀県と彦根市で協定書および覚書を締結し、令和6年の登録実現を目標に、協働して作業を進めることを確認し、両者連名で、彦根城世界遺産登録 推薦書（原案 第1稿）を文化庁に提出した。
- 令和2年度から滋賀県と彦根市で、作業母体として彦根城世界遺産登録推進協議会を設立し、推薦書（原案）の改訂に取り組んでいる。
- 令和3年には、課題であった国際会議を開催し、彦根城の顕著な普遍的価値が世界的にも認められることを確認した。



(2) 彦根城の顕著な普遍的価値

- 彦根城は、世界的にも注目される250年以上の安定を形成し維持した江戸時代における統治の在り方を示す地域政治拠点であり、その地方統治の特徴を証明する、建築と土木が一体となった遺跡の典型・代表例として世界的な価値がある。

(3) 今後のスケジュール(目標)

- 令和4年度 国内推薦の決定 推薦書をユネスコに提出
- 令和5年度 イコモスの現地視察
- 令和6年度 イコモスの勧告を経て、ユネスコ世界遺産委員会にて、彦根城の世界遺産登録が決定



担当：文化スポーツ部 文化財保護課
彦根城世界遺産登録推進室
TEL：077-528-4682